

ト★ 東星学園だより

TOSEI

東京都清瀬市梅園 3-14-47 TEL 042-493-3201 <http://www.tosei.ed.jp>

□ 西武池袋線秋津駅 南口 徒歩 10分 □ JR 武蔵野線新秋津駅 徒歩 15分

vol. 14

「空の鳥をよく見なさい」

校長 大矢 正 則

空の鳥をよく見なさい。種も時かず、刈り入れもせず、倉に納めもしない。だが、あなたがたの天の父は鳥を養ってくださる。野の花がどのように育つのか、注意して見なさい。働きもせず、紡ぎもしない。今日は生えていて、明日は炉に投げ込まれる野の草でさえ、神はこのように装ってくださる。まして、あなたがたにはなおさらのことではないか。

冒頭の聖句は『マタイによる福音書』6章25節から30節の一部です。ここでは、すべてが恵みであることが教えられています。鳥たちは種を蒔いたり、刈り入れたり、蓄えたりしないのに、飢えずに生きています。明日は炉に投げ込まれてしまうかもしれない野の花も、きれいな花を咲かせます。こうしたことは、鳥や花が自分たちで努力した結果のものではありません。すべてが神様の恵み、それも一方的な恵みによるものです。

私たち人間にも神様は同じように無条件に恵みを与えてくださっています。引用した聖句によれば、「まして、あなたがたにはなおさらのことではないか」となっています。私たちは鳥よりも花よりも神様から一人ひとり大切にされていることを教えています。

旧約聖書に「わたしの目にあなたは価高く、貴く」（『イザヤ書』43章4節より）とあります。これは神様からのメッセージですから、一人称の「わたし」は神様を指します。「あなた」は、私たち自身です。

神様の目は人間の目とは違います。神様の目から見ると私たちは価高いのです。そして、一人ひとりがいかに存在なのです。

しかし、人間は有限な、つまり、時間も場所も限られたものしかみることができません。神様のように永遠の目で見ることができません。したがって、人に貴賤を感じたり、差別したりしてしまう。自分に対しても、嫌悪したり、価値がないものであるなどと考えたりしてしまう。

そんなときには、冒頭の、空の鳥のことや野の花のことを思い出したいものです。生まれてきたことも。生きていることも。何かを信じられることも。何かを忘られることも。それから、さだめられた時期が来

てこの世を去ることさえ、恵みなのだろうと思います。神様がみもとに連れ戻してくださるのですから。

つまり、私たちの人生の目的は神様と共に永遠に生きることなのだろうと思います。それはすべてを恵みと受け止めて生きる生き方です。しかし、けっして投げやり生きる生き方ではありません。自分なりに精一杯努力して、あとは神様にお委ねする生き方。努力は結果を求めてする場合もあるでしょう。けれども、努力しても求めた通りの結果が出るとは限りません。むしろ、結果が出ないことの方が多いた方が通常です。そのときが大事なときです。つまり、求めた結果ではないものが突きつけられたとき、それをどう受け止めるかです。

こういうときこそ、神様を信じられるときなのだと思います。思い通りにことが運んでいるときは神様を忘れがちで、突っ走りかねません。しかし、求めた結果が出なかったとき、思わぬ事態に陥ってしまったときには、立ち止まらざるを得ません。そして、その結果や境遇を素直に受け取らざるを得ないのです。人生は人間の目から見ると辛いことの連続です。しかしそれは見方を変えると、神様と出会う機会の連続であるということが出来ます。

どんなときにも神様は道を用意して下さっていると聖書は教えてくれます。しかもその道は、私たちの想像を絶する道であると書いてあります。『イザヤ書』から引用します。ここでも、一人称の「わたし」は神様を指し、「あなた」は私たち人間の一人ひとりを指します。

わたしの思いは、あなたたちの思いと異なり、わたしの道はあなたたちの道と異なると主は言われる。天が地を高く超えているように、わたしの道は、あなたたちの道を、わたしの思いはあなたたちの思いを、高く超えている。（『イザヤ書』55章8節・9節）

人間は思いだけではどうにもならない状況に晒されながら、なんとかして生きていかなければなりません。そんな私たちの思いを神様をご存知の上で、異なる思いを持っておられる。しかもそれは私たちの思いを高く超えている。

聖書を読むと元気が出ます。

中学校・高等学校

第52回合唱祭

合唱祭委員長 高等部3年 Y・M

7月5日に清瀬けやきホールにて第52回合唱祭が行われました。中学生は授業での練習の成果を発表する場で、高校生はコンクールという形での発表となります。中学1年生は小学生の頃にお世話をしていたので、我が子のように見ていました。皆緊張していて可愛らしいなと思いました。中学2年生は男子の声がとても迫力があり、思わず聞き入ってしまいました。中学3年生は発表した1曲の完成度が高く歌声がとても綺麗でした。高校1年生は女子も男子も声が出ていて高校3年生の私達はかなり恐れていました。自由曲がとても素晴らしかったです。

高校2年生は入場の時からこの学年らしい明るく楽しい入場で、場が和みました。コンクールのピリピリと緊張した空気を軽くしてくれたことを感謝しています。高校3年生は負けず嫌いな人がとても多いので絶対に負けたくないという思いが歌声に出ていたと思います。私たちにできる最高の発表ができました。最優秀賞に選ばれた瞬間本当に嬉しかったです。私にとって合唱祭は学年の絆を深める大切な行事でした。後輩の皆さん、どうぞ合唱を楽しんで下さい。



夏の活動

被災地ボランティア

宗教部



7月29日から4日間、現地視察や草刈り・幼稚園でのボランティアを中心に、カリタス南相馬で過ごしました。以下は参加生徒の感想です。

『同じ日本内で起きたことながら、知らず知らずのうちに自分がどこか他人事として考えてしまっていたことに、現地の方々のお話を聞いて感じました。』

『今回被災地ボランティアに参加して実際に被災した地を見学したり被災した方々のお話を聞いて、行く前に思っていた「8年も経っているからそこまで被災した場所とわかるような場所はもうないのかもしれない」というのは全然甘い考えで、まだまだ色々な問題が積み重なって復興が進んでいない状況でした。』

『被災に遭われた人達は、このごく普通の毎日が急に出来なくなってしまったということを知り、私たちが気にしないで過ごしている毎日はとても恵まれていることなんだと実感しました。』

美術部合宿を終えて

高等部2年 S・K

昨年と同様、美術部と室内楽部合同で山梨県西湖へ合宿へ行ってきました。同じ場所だからこそその変化や気づきも多く、有意義な活動になりました。油絵を仕上げるほかに、合評会では絵についてアドバイスし合い、クロッキーも行います。他の部員の絵からの学びも多く交流も出来、初参加の部員も多い中で、絵の技術だけでなく部活全体の団結



力も上がったのではないかと思います。合宿で制作した油絵は校内に展示される予定ですのでぜひ、見ていただくと嬉しいです。

女子バスケットボール部 夏休みの活動

高等部2年 H・C

女子バスケットボール部は、夏休みに多摩地区中学校私学祭大会と関東地区カトリック校女子球技大会に出場しました。試合に向けて8月の初めに校内合宿を実施し、主にセットプレーの練習やOB・OGの先輩方と男子バスケ部に来ていただき練習試合を行いました。1泊2日という短い期間ですが、合宿を通して部の団結力が高まり、個人の技術を向上させることができました。

私学祭大会では、全員初めての公式試合で慣れないことも沢山あり緊張している様子でしたが、練習したことをプレーに活かすことができていました。

カトリック大会では中学1年生から高校3年生まで一緒に出場しました。中学生にとって高校生と同じ試

合に出るといことはほとんどないので先輩の動きを見たり一緒にプレーすることで多くを学ぶことができ、良い経験になったと思います。残念ながら両試合とも勝ち残ることはできませんでしたが、これらの試合でできたこと、できなかったこと、悔しかったことなど部員それぞれ思いがあり、また新たな目標を見つける良いきっかけになったと思います。次の試合に向けてそれぞれの目標を達成できるように努力し、これからも一生懸命練習に励んでいきたいです。



中学・高校図書室より …ワークノートのおすすめ

学校司書

学校司書の重要な業務の一つに、みなさんの学習意欲を刺激する！ということがあります。毎日の生活の中で疑問や気付きに関して、図書室に来て、まずは司書にお話ししてみてください。その対話の中で問題の核心が明らかになってきて、解決への道筋が少しずつ見えてくると思います。更にはそのプロセスを、ご自分が一番使い易い形の、しかも携帯可能なワークノートにまとめておきましょう。このノートは将来、進学した先でも、就職した現場でも、ずっと長い期間に亘って継続していきましょうね。実際に紙面に書き出すことによって、どのような資料や本を収集・調査すればいいのか、どのような方法でフィールドワークすればいいのか、等々、具体的

なイメージが浮かんできます。その際ポイントになるのは、徹底的に『乱筆で書く！』ということです。単語の羅列や簡単な図・イラストだけでも最初は充分です。

ノートがすこし書きたまってきたら、再び図書室に来てみて下さい。このノートを基にして、どんなところが難しいのか、すごく嬉しかったのはどの部分か、思いの丈をばあーっとお話しして下さい！具体的に教えてくれたら私もとっても勉強になりますので♪こういう『知』の遊びをみなさんお一人おひとりのペースで、一緒に丁寧に繰り返していきましょうね。この繰り返しの訓練が、みなさんの「考える力と表現力」を育ててくれます。この知の遊びを通して、なぜ授業こそが大切なのか、なぜ本を読むことが必要なのか、ということについて、みなさんの心の中で意識を確立して頂ければよいなあと考えているのです～♪

保健室より

養護教諭

夏休みが終わり、秋は、テストや体育祭、バザー、延期になっていた中3学習旅行など、行事がたくさん控えています。まだまだ暑さが続きますので油断せず、疲れがたまっている人は規則正しい生活を意識し、生活リズムを立てなおしましょう。

東星学園の保健室は、学園で一つです。小学生や中学生、時には幼稚園児と、来室者はさまざまですが、違う校種、違う学年が使用するため、みなさんが気持ちよく過ごせるように、それぞれがマナーを守りながら利用しています。

保健室では、その日のケガの応急処置や体調不良の

対応のほかに、自分たちの心とからだに興味関心を持ち、健やかに成長していけるようにお手伝いをしています。児童生徒が行う保健委員会活動では、児童生徒が爪検査やハンカチ検査をしたり、自分のクラスの環境を報告し合い整えようと、季節や時期にあった働きかけをしています。また、ほけんだよりやポスターを作成し、注意や予防につとめています。

また、保健室はカウンセリングルームとも隣接しており、必要な時はそのままカウンセリングを受けることもできます。カウンセリング専用電話（042-493-3939）は、カウンセラーが不在の時は保健室で取ります。必要により、カウンセリングルームと連携し、皆さんがよりよい学園生活を送れるように努めていきますので、誰かに相談したいとき、心やからだに疲れてしまったときは、保健室を思い出してください。

小学校 水泳授業

体育科

セントラルウェルネスクラブ清瀬店で実施している水泳授業は、4年目を迎えました。全国各地、水泳授業に代わる単元を選択し廃止された学校もあります。民間スイミングスクールに委託したり、近隣学校のプールで休暇中（短期集中）に実施するなど、水泳授業の実施については、様々な工夫がされています。東星学園では、授業を実施しないことも検討されましたが、休館日の空いた時間をお借りして、夏期特別時間割（今年度は6/17～7/8）の毎週月曜日、全学年2時間使用し、計4回実施しています。

始めた頃は、4回の授業でどこまで単元目標を達成できるか、眠気を防ぐ授業の時間帯設定やバスの移動人数の調整など、授業毎に試行錯誤することもありました。天候に左右されず、移動を気にせず水泳授業を実施できる利点は、水に入る時間の確保と実施内容の充実につながり、試行錯誤していたことが改善されていきました。

授業前には、必ず水泳カードに「今年の目標」を書きます。自分の今年の目標と各学年の目標を確認することで、明確になった課題を短時間の中でも達成できるようになります。終了後は、振り返りとして「頑張ったこと、できるようになったこと」などを書きます。

低学年の頃は顔を付けるのも苦手だった児童も、年々積み重ねてきたことにより、高学年になってから水とお友達になり、体を浮かせ、バタ足、息継ぎ、クロール

ルの手などできるようになりました。水が苦手でもお友達と一緒に水に入ること、上達が早い児童が多く見られます。退水の際、喜びのあまり「できるようになった～♪」「25m泳げるようになったあ」という声も数多く聞かれました。感想では、目に見える上達や個々に体感したことなど、喜びの声がかかれていました。日常の体育とは異なり、担任の先生方と一緒に入水するので、児童達はより楽しみながら授業を受けている様子も見られました。

4回と限られた水泳授業をとおして、バスの運転手の方々との触れ合い、プールの監視員のお兄さんたちに見守られ授業が無事に終わられたこと、様々なご協力があり実施できること、肌で感じていることは数多くあると思います。感謝の気持ちを忘れず、今後の学校生活に活かしてほしいと思います。



<学年目標>

1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
補助 浮き身	けのび 5m	バタ足 8m	面かぶり 加-ル8m	クロール 10m	クロール 25m

修学旅行

6年 担任

6年生は7月22日（月）～24日（水）、長野県小諸市高峰高原へ2泊3日の修学旅行に行ってきました。旅行委員で決めたテーマは「みんな仲良く自然を楽しむ」でした。

今年の7月は例年よりも雨や気温が低い日が続く、修学旅行当日の天気も心配されましたが、雨に降られ

ることなく過ごすことができました。初日は予定通り進み、鬼押し出し園、鎌原観音堂に到着しました。鬼押し出し園は浅間山噴火によって生まれた、溶岩の芸術です。大きな岩々に囲まれながら、昼食を食べました。夜は地元のインストラクターの方に星について説明していただきました。夏に見える星座について教えていただいた後、実際に天体観測をしました。途中雲に遮られることもありましたが、普段見ることができないほどの無数の星に子どもたちは感動している様子でした。天体望遠鏡を用いて土星を見てみると、土星の環も確認することができました。

2日目は黒斑山の登山です。雨の予報もあったため、安全に配慮し、途中までの登山としました。登り始めると様々な高山植物を見ることができました。ホテル到着後、俳句やスケッチを完成し、歌合戦。課題曲は今回の修学旅行のテーマソング「パプリカ」、その他に振付可の自由曲です。本番はどのグループも立派な歌声を聞かせてくれました。

3日目は佐久平ハイウェイオアシス「パラダ」に行きました。アスレチック広場や昆虫体験学習館など多彩な体験プログラムがありました。普段体験することのできない自然の中での生活が、今後の学校生活の活動に繋がっていくことを期待しています。



夏期学校

4年 担任

8月1日(木)～3日(土)まで、4・5年生は夏期学校に行っていました。例年は群馬県榛名湖に行きますが、今年は宿の関係で山梨県鳴沢村に行っていました。何十年ぶりの行き先変更で、令和元年にふさわしい、新しい合宿となりました。

初日は学校を出発し、鳴沢氷穴を見学しました。真夏にも関わらず氷穴の中は気温氷点下、階段を下りていくだけでどんどん寒くなっていくという、とても貴重な体験をすることが出来ました。宿に到着すると突然の豪雨に見舞われましたが、夕飯を食べてからのキャンプファイヤーは無事に実施することが出来ました。

2日目は、紅葉台から三湖台に登り、その後樹海の中を進むガイドウォーキングを行いました。紅葉台や三湖台に登ると樹海を見下ろすことができ、まさしく「樹の海」という景色を眺めました。そのまま今度はその樹海の中に入って行くというコースはとても興味深く、正直大人でも参ってしまうほどの長距離ウォーキングでしたが、子ども達は元気いっぱい歩き切りました。宿に戻ってからみんなで食べたスイカの味は、きっと忘れられないものになるでしょう。

最終日は富士花鳥園に寄りました。動物と植物がたくさん園内で子ども達もリラックスした様子でした。うさぎやモルモットと触れ合えるコーナーは大人気でした。

皆様のご協力・ご支援のもと、ほぼ予定通りに全日程を終えることが出来ました。ありがとうございました。



子どもの好き嫌いについて

管理栄養士

子どもの好き嫌いが起こる原因は、遺伝的要素と環境的要素があると言われています。味には、甘味・塩味・酸味・苦味・うま味という基本の味「五味」があります。

◎遺伝的要素での好き嫌い

甘味・塩味・うま味は人間が生きていくために必要不可欠な栄養素のものが入っているというシグナルで、人間は自然にその食べ物を好むそうです。一方、苦味や酸味は、毒物や腐敗物など身体に悪そうなものを判別するためのシグナルだと考えられています。つまり、子どもが甘いケーキや塩味の強いフライドポテトを好み、苦味の強いピーマンや酸味の強い酢の物を嫌うのは、本能的なものだといえるそうです。

◎環境的要素での好き嫌い

(どんな食事をするかによって、後天的に起こるもの)
最近の研究では、小さい頃からいろいろな食べ物の経験(食経験)が豊富な子どもほど、いろいろな食べ

物をよく食べることがわかっています。しかし、子どもが大きくなったからといって遅すぎるということはありません。今からでもいろいろな食べ物を味わうことで食の好みは変わっていきます。

◎苦手な食べ物と仲良くなる

子どもの嫌いな食べ物を食べさせるために細かく刻んで好きな食べ物に混ぜたり、味付けを変えたりして工夫されている保護者の方も多いと思います。しかし、うまくいかないこともありますよね。ポイントは「苦手な食べ物と仲良くなる」ことです。仲良くなるには時間がかかります。すぐには効果が表れないかもしれませんが、また、子どものタイプによって効果的な方法は異なります。保護者の方は、絶対に克服させなければと気構えるのではなく、楽しみながらいろいろな方法を試してみてください。

自分の苦手な食べ物をおいしそうに食べている親の姿や、給食時間の友だちを見て、「もしかしたらおいしくないかな?」と食べてみたら意外と食べられたという話も聞きます。「食べなさい!」と言うより食べている姿を(それもおいしそうに)子どもに見せる事が何倍も効果的だと思います。ゆっくりといろいろな食べ物と仲良くなってください。

とうせいキッズ

「笑顔の貯金には
やさしさの利子がつく」

～すくすくクラブで
対人間関係コミュニケーションを
学ぼう～

とうせいキッズ職員

大人になって振り返ってみると、子ども時代に経験を通して学んでいたよかったと思うことのひとつに、対人関係のコミュニケーション力があります。これは学校の授業で習うことが難しい。決まった答えがないうえに相手を思いやるという態度が必要だからです。忍耐力がまだ付いていない子どもにこのことを要求するのは子どもにとってなかなか辛い、しんどいことになります。見返りを求めず相手に優しくするには根気が必要です。忍耐力のない子どもにとって、この無償の優しさは傷つくのが必然の報われない毒となってじわじわと子どもを痛めつけるからです。

大人になる過程で様々な経験を通して徐々に忍耐力をつけていけば、その傷に耐え、次第に軽い外傷なら気付かない程度にまで至ります。けれども子どもの未経験で繊細なところには些細なことでも泣きわめくほど

大きな痛みとなります。その痛みを通して対人関係力は培われます。この体験的な姿勢は教科のように教えることが出来ません。大人の補助と助言でそれを気付かせてあげることができたらいいな、と思います。

放課後児童保育という場は子どもたちがこの体験をするのに適した場です。教育目標に縛られる学校ほど確かな目標や強い決まり事もなく、家庭のように「いること」が大切にされる場で、家でも学校でも出せない子どもの新しい一面が見られるからです。

小学校で気が合わない子ども同士に感情の掛け違いがあり、それを引きずったまますくすくクラブに来ることがあります。この状態のまましているとすくすくクラブだけでなく、学校生活も辛いものになってしまう。そんなとき私たち職員が遊びなどを通してその二人の（ときには三人の）間に仲介に入り、上手な関わり方をそれとなく示して、相手を傷つけない関わり方をしたら、そのポイントをしっかり褒めてあげます。優しさを示しても心が傷つかない状態を作ってあげます。子ども同士で遊ぶのはもちろん大切ですが、時には大人も交えて一緒に遊んで、お互い苦手な子どもたちにも笑顔で楽しめる場所を提供するのは、次の優しさを生む大切なことです。

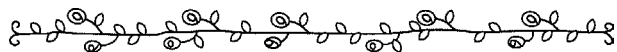
「笑顔の貯金には優しさの利子がつく」と私は考えています。笑顔から生まれた優しさの利子で、心に傷を受けないで相手に優しく接することが出来たらいい。とうせいキッズすくすくクラブが対人関係コミュニケーション力を学べる場所になり、いろいろな人に優しく接することのできる大人になる手助けができるといいなと思っています。



幼稚園

夏のおそび

幼稚園職員



夏のおそびといえば『水』。体全部で水を感じてあそぶことができる季節は、やはり夏ですね。夏に入る前の梅雨時期、その頃から幼稚園では水に触れてあそびました。合羽を着て戸外へ出てみたり、水たまりに入っバシャバシャ水の跳ね返りを楽しんだり、雨の日の園庭にテントを張ってあそんだり…。雨の日は独特の匂いがします。子どもたちは五感を使って、雨の日の匂い、雨水の温度、寒いと感じる肌の感覚など、多くの学びを得ていたことでしょう。

今年の夏は、『色水』を存分に楽しみました。透明のプラスチックカップとペットボトル、絵の具4色（赤・青・黄・白）を用意し、色を混ぜて変化を楽しむことができたか…とっていました。予想以上に子どもたちは楽しみ、1か月半の期間あそび続けました。4色それぞれを混ぜてできた色を、年中・年長が職員

に教えてくれます。それを記録にとり、貼り出しました。すると、見ながら色の足し算をする年少。この、自分でやってみるという行動が、子どもたちの一番ワクワクする瞬間ではないかな？と感じています。なんだかよくわからないけど、お兄さんお姉さんを真似てみる。できた！失敗、できなかった！どちらにしても、子どもの心にしっかりと刻まれていることでしょう。色水のあけ移しにしても、年長はペットボトルからペットボトルへ！年中は同じ量で入れる！それぞれ少し背伸びした行動を求めて自然と取り組む姿は、目を見張るものがありました。その中で、ジャージャーこぼしてもお構いなしの年少。でも、お兄さんお姉さんの姿をみて、いつか獲得することでしょう。

こうして、今年の夏もたくさんの経験を繰り返して、一回りも二回りも大きくなった子どもたちでした。2学期、さらなる成長に期待しています！



プレスクール ことりぐみ

幼稚園職員



今年度初めてのプレスクールの担任を持っています。子どもたちの「自分でやる！」「やってみよう！」という気持ちを大切に楽しく過ごしています。

プレスクールは、5月から週1回午前中の1時間、10月まではおうちの方と一緒に、11月からはお子様だけをお預かりします。2歳は、「じぶんで！」と何でも自分でやりたい時期。手指をしっかりと使って、いろいろな感触を自由に存分に味わい、自分でできる喜びを沢山感じてほしいと思い、計画を立てています。

登園初日、幼稚園のお兄さんお姉さんが「あそぼうね。まっけたよ。」とメダルを作ってくれ、歌のプレゼントをして迎えてくれました。緊張していた子どもたちも思わず



ニコリ笑顔でした。

1学期には絵の具でスタンプ、フィンガーペインティングや、色水、色付き寒天などで手を使って楽しく遊んできました。子ども達と過ごしていると、あそびの中でどんどん学んでいる様子が見られます。人のしているものを見て「自分もやってみたい！どうやるのだろう？」とよく見て考え、自分なりに楽しめる方法を編み出して取り組んでいます。

回数を重ねるに連れて、5月にはおうちの方から1歩も離れようとしなかった子どもも少しずつ園にもお友達にも慣れ、お友達の名前を呼んでみたり先生にできたものを見てもらおうと、自ら先生に声をかけたりする姿が見え始めました。これからいろいろな成長していく姿を身近で見守っていききたいと思います。これからも楽しくいっぱい遊ばせよう！



広 報

本学園の広報活動についてお知らせいたします。
参加をご希望の方は、本校HPより事前にご予約
をお願いいたします。

【幼稚園】

講演会

11月15日(金) 9:30～11:00

「子どもの運動能力低下と推移」

講師：土方一成先生

NPO法人リナシャンテ代表 当園体育指導

1月23日(木) 9:30～11:00

「学力をつけるために親が出来ること」

講師：児玉裕巳先生 公認心理師 SC

東星学園スクールカウンセラー

【小学校】

入学試験

※今年度より、全てウェブ出願となります

11月1日(金)・11月2日(土)・11月16日(土)

12月14日(土)・1月18日(土)

【中学校・高等学校】

オープンキャンパスウィーク(中学・高校)

11月5日(火)～7日(木)、

11月11日(月)～15日(金)

14:50～15:50

学校説明会(中学・高校)

11月30日(土) 14:30～16:00

一人でも多くの仲間をここ東星に迎えることができ
ますように、今後とも皆さまのご理解とご協力をお願
い致します。

学園行事予定 (2019年10月～1月)

	中学校・高等学校	小 学 校	幼 稚 園
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・衣替 ・始業式 ・体育祭 ・高1・2年学力テスト ・塾対象学校説明会 ・東星バザー 	<ul style="list-style-type: none"> ・始業式 ・体育祭 ・年中・年少対象学校説明会 ・バザー 	<ul style="list-style-type: none"> ・衣替 ・体育祭 ・遠足 ・バザー
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・オープンキャンパスウィーク ・校外学習 ・学習参観・学級懇談会 ・中間テスト ・中学・高校学校説明会 ・中学ミサ 	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回入学試験(A日程・B日程) ・6年生懇談会 ・第2回入学試験 ・私学体育発表会 ・5年生懇談会 ・展示会 ・授業参観 	<ul style="list-style-type: none"> ・食育出前講座 ・七五三
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・高等部学習旅行 ・合唱団キャロリング街頭募金 ・入試相談期間 ・クリスマス会 ・終業日 	<ul style="list-style-type: none"> ・1・3・4・2年生懇談会 ・第3回入学試験 ・クリスマス会 ・終業日 ・スキー教室 	<ul style="list-style-type: none"> ・ろうそく点火の集会 ・第1回新入園児半日入園 ・クリスマス会 ・終業日
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・始業日 ・中学入試体験会 ・東星小4年生対象OC ・高校推薦入試 ・高1・2年模試 ・進級面接 ・英検 	<ul style="list-style-type: none"> ・始業日 ・中学入試体験会 ・第4回入学試験 ・東星小4年生対象OC ・低学年朗読大会 	<ul style="list-style-type: none"> ・始業日 ・身体測定 ・参観 ・第2回新入園児半日入園 ・防災訓練

園児・児童・生徒の活動報告

(小学校)

清瀬市夏季卓球大会

準優勝 6年いちょう組 M・R

第3位 6年いちょう組 T・H

きよせの環境・川まつり(川柳)

秀作 5年けやき組 N・S

はたらく消防の写生会

優秀賞 2年かえで組 Y・K

4年いちょう組 K・H

入選 2年かえで組 I・H

3年けやき組 K・K

3年いちょう組 I・N

4年けやき組 N・R

編集後記

充実した夏休みが終わり、子どもたちは楽しく学園生活を送っています。

10月より体育祭、バザー、クリスマス会と、大きな行事を控えています。一つ一つ丁寧に準備をし、子ども一人一人が輝ける場所となるよう活動していきたいと思ひます。

(編集担当)